

野菜指定産地の生産出荷近代化計画（概要）について

野菜指定 産地名	指定野菜名	指定産地 の区域	関係農協	目標（令和10年）				概 要
				作付面積 (h a)	増加率 (%)	生産数量 (t)	増加率 (%)	
肱川	夏秋きゅうり	松山市、大洲市、伊予市、松前町、砥部町、内子町	J A えひめ中央 J A 愛媛たいき	57.4	102.5	2,180	109.3	新規就農研修センターを活用した新規就農者の確保・定着、他作物からの転換や新規就農者の掘り起こし、積極的な作付け誘導等により作付け面積を拡大するとともに、耐病性・多収性を備えた有望品種の研究・導入や、講習会・研修会により生産者全体の栽培技術を向上させ、生産性の向上に努める。
今治	夏秋きゅうり	今治市	J A おちいまばり	28.2	100.7	834	102.4	担い手の育成や既存農家の規模拡大に努めるとともに、栽培技術の高位平準化による産地基盤の維持を図る。また、減農薬や減化学肥料栽培などの安全・安心農産物の消費者への提供や地産地消の拡大等により経営安定を図り、産地の維持拡大に努める。
周桑	夏秋きゅうり	新居浜市、西条市	J A 周桑 J A えひめ未来	31.0	105.4	1,289	115.1	定年退職者や法人等を対象に新規就農者の掘り起こしを行うとともに、経営感覚に優れた効率的、安定的な経営体を増加させるために認定農業者の育成を図る。また、適期防除・適正施肥を徹底し、環境に配慮した減農薬・減化学肥料栽培の推進を図るとともに、有望品種の栽培試験・導入を継続して実施することで、秀品率の向上や周年出荷体制の維持に取り組み、安定生産を行う。
東宇和	夏秋きゅうり	宇和島市、西予市、松野町、鬼北町	J A ひがしうわ J A えひめ南	35.0	99.7	1,326	109.5	既存の収穫ヘルパーの活動促進により労働力の確保に努めるとともに、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な経営体を増加させるために認定農業者の育成を図る。また、耐病性品種の導入や土壌分析結果に基づいた適正施肥や堆肥の投入等、環境に配慮した減化学肥料・減化学農薬栽培の推進を図るとともに、養液土耕栽培システムの導入を進めていくことにより品質の向上と樹勢の維持を図ることで収量・品質を確保し産地の振興に取り組む。

野菜指定 産地名	指定野菜名	指定産地 の区域	関係農協	目標（令和10年）				概 要
				作付面積 (h a)	増加率 (%)	生産数量 (t)	増加率 (%)	
周桑	冬春きゅうり	今治市、西条市	J Aおちいまばり J A周桑 J Aえひめ未来	10.7	103.9	993	106.8	定年退職者や法人等を対象に新規就農者の掘り起こしを行うとともに、経営感覚に優れた効率的、安定的な経営体を増加させるために認定農業者の育成を図る。また、天敵の利用技術や有機JAS認定農薬等を普及させ、環境に配慮した減農薬・減化学肥料栽培の推進を図るとともに、講習会・栽培指導による栽培技術の高位平準化や消周年出荷体制の維持に取り組み、きゅうりの安定生産に取り組む。
肱川	冬春きゅうり	大洲市、西予市、内子町	J A愛媛たいき J Aひがしうわ	11.0	103.8	829	112.6	技術講習会・研修等の充実、集出荷施設の効率的な活用により、農作業の効率化、生産性向上に努めるとともに、経営感覚に優れ、効率的かつ安定的な経営体として認定農業者の育成を図る。また、防虫ネットや紫外線カットフィルムの利用、土壌診断結果に基づく適正施肥を地域全体に普及させ、環境に配慮した減農薬・減化学肥料栽培の推進を行うとともに、耐病性や生産性の優れた品種の検討、導入により収量と品質を確保し、産地の生産基盤の維持・拡大を図る。
松山	たまねぎ	松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町	J Aえひめ中央 J A松山市	28.3	59.0	975	61.2	近年、需要が伸びている加工分野への供給に対応するため、加工業者との商談を行い出荷拡大を図り、根切り等の出荷調整作業の省力化や通い容器の利用等生産者の負担軽減や流通コストの削減にも取り組む。また、JAの新規就農研修センターで就農希望者の受入れを行い、たまねぎ生産者の確保・育成を行うことで、産地の維持に努める。

野菜指定 産地名	指定野菜名	指定産地 の区域	関係農協	目標（令和10年）				概 要
				作付面積 (h a)	増加率 (%)	生産数量 (t)	増加率 (%)	
周桑	たまねぎ	西条市	J A周桑 J A東予園芸 J Aえひめ未来	56.1	103.9	1,925	110.6	加工用たまねぎを中心に栽培の推進を行い、機械化一貫体系を拡充し、機械の共同利用、作業受託事業の実施により、生産面積の維持・拡大を図る。また、貯蔵性に優れた品種の検討・導入を行うとともに、J Aが育苗を行うことにより安価で良質な苗を安定的に供給する。
久万高原	夏秋トマト	松山市、伊予市、久万高原町、砥部町、内子町	J Aえひめ中央 J A松山市	47.3	101.6	2,518	116.6	平成10年度から開始した久万農業公園の就農研修制度による、新規就農者の確保や補助事業を活用した新技術の導入を進めるとともに、担い手育成支援センターを中心とした指導体制の充実等により、安定した経営を行える生産者を増加させ、認定農業者の育成を図る。また、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物生産のため、栽培履歴記帳の徹底や環境に配慮した減農薬減化学肥料栽培を推進している。
東予	冬春トマト	今治市、新居浜市、四国中央市	J Aおちいまばり J A新居浜市 J Aうま	8.8	92.6	609	92.0	生産者の高齢化が進む中で、定年退職者等を対象に新規就農者の掘り起こしを行うとともに、土壌診断結果に基づく適正施肥や有機JAS認定農薬等の普及により環境に配慮した減農薬・減化学肥料栽培に取り組むことで、消費者ニーズに対応した良品質生産や地元市場での販売拡大を推進し、価格の安定と産地の維持拡大に努める。
大洲	冬春トマト	大洲市（旧大洲市に限る）	J A愛媛たいき	6.4	100.0	704	108.5	生産農家の労力削減のために、J A育苗センターによる苗の提供、JAトマト選果場による選果選別等、作業の分業化を行っている。また、耐病性品種の検討・導入や高糖度トマトの栽培技術の普及等、生産性・収益性の向上に取り組んでいる。

野菜指定 産地名	指定野菜名	指定産地 の区域	関係農協	目標（令和10年）				概 要
				作付面積 (h a)	増加率 (%)	生産数量 (t)	増加率 (%)	
伊予	夏秋なす	松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町	J Aえひめ中央 J A松山市	36.8	102.2	1,089	104.7	近年は、特産の松山長なすとともに、比較的栽培が容易で多収性の伊予なす（筑陽なす）栽培が普及している。今後は、講習会・研修会により新規就農者の技術支援と生産者全体の栽培技術向上を行い、規模拡大や施設栽培を組み合わせた周年出荷体制の確立を図り、農家所得の向上を目指す。
大州	秋冬はくさい	大洲市	J A愛媛たいき	37.6	104.4	1,490	106.4	生産者の高齢化や消費者の求める食の安全・安心の動き等に対応するため、おとりだいこんの利用による根こぶ病対策、適期ローテーション防除等による効果的な防除による減農薬栽培の実施、土壌診断結果に基づく適正施肥による化学肥料の軽減等に努めている。また、国営パイロットの遊休農地化対策やたばこの廃作園地対策として、はくさいの作付けを推進してきており、個々の生産者の生産規模の拡大により、産地の維持拡大を図る。
久万高原	夏秋ピーマン	松山市、伊予市、西予市、久万高原町、砥部町、内子町	J Aえひめ中央 J A松山市 J Aひがしうわ	29.6	104.2	1,045	108.4	新規就農研修センターでの研修生受入れや定年退職者や非栽培者（女性・高齢者）を含めた新規就農者の掘り起こしを行うとともに、講習会や研修、栽培・経営指導等のサポートを充実し、定着を図る。また、環境に配慮した減農薬・減化学肥料栽培を推進しながら、生産、品質の安定化と産地の維持に努める。

野菜指定 産地名	指定野菜名	指定産地 の区域	関係農協	目標（令和10年）				概 要
				作付面積 (h a)	増加率 (%)	生産数量 (t)	増加率 (%)	
西条	ほうれんそう	西条市	J A西条市	22.7	90.8	150	93.6	講習会の開催や巡回指導の実施により安定生産に努めるとともに、規模の大きい生産者を中心に認定農業者として育成し、経営感覚に優れた効率的、安定的な経営体を増加させる。また、緩効性肥料の使用や緑肥すき込みの普及により肥料使用量の削減を図るとともに、継続した有望品種の選定・導入によって秀品・L階級の安定生産、出荷に取り組む。
伊予	冬レタス	伊予市、松前町	J Aえひめ中央 J A松山市	34.2	103.6	625	112.0	J A生産部会を中心に関係機関・団体が連携し、マルチャー、定植機等による作業の省力化、低コスト化を進めるとともに、規模拡大や新規栽培者の確保に努める。また、肥料・農薬・有望品種・高温対策資材等の試験を実施することで高品質で安定的な生産を目指し、産地基盤の維持・拡大に努める。
東予	秋冬さといも	今治市、新居浜市、西条市、四国中央市	J Aおちいまばり J Aえひめ未来 J A周桑 J Aうま	308.4	97.6	8,589	106.2	機械化一貫体系の拡充や、機械の共同利用・作業受託事業の実施により、生産面積の維持・拡大を図る。また、加工・業務用向けの取引拡大に取り組み、生産者の収入の安定化を図る。